

東日本大震災から10年⑤

津波に命を奪われた仲間とご家族に  
震災の教訓を語り継ぎ、  
安全議論の強化・発展を誓う

JR東労組水戸地本と原ノ町支部の代表は3月19日、南相馬市原町区、小高区を訪問し、水戸地本内で東日本大震災の津波で犠牲となられた組合員とご家族の墓参、慰霊碑への献花を行いました。

10年前の東日本大震災では水戸地本の仲間2名とご家族1名が津波の犠牲となりました。心よりご冥福をお祈りいたします。

私たちJR東労組水戸地本は、東日本大震災での仲間の犠牲の上に得た教訓を忘れず、防災、減災、より安全な鉄道づくり、社会づくりを目指し、JR東労組の組織再建と強化・拡大に向けて、取り組みを進めていきます。



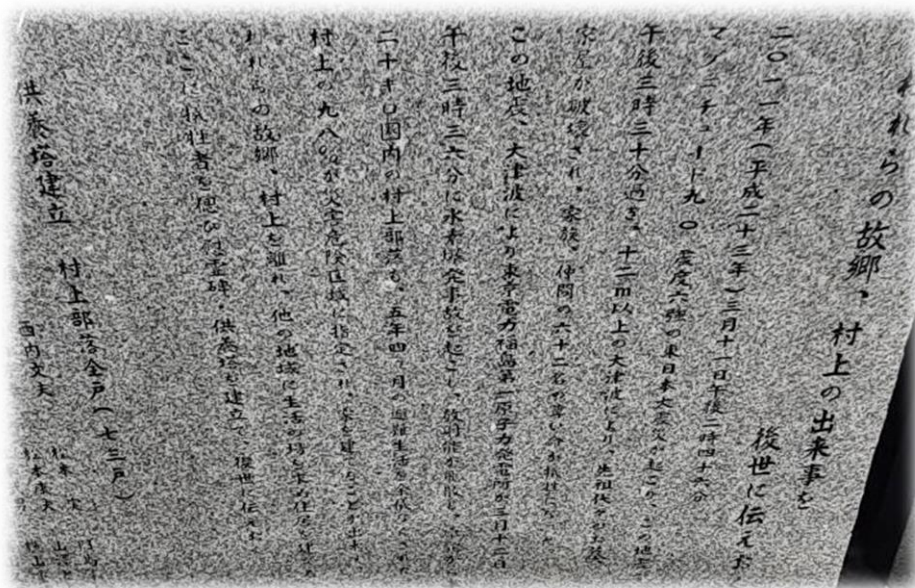
← 南相馬市原町区萱浜地区の慰霊碑。萱浜地区ではJR東労組組合員1名、ご家族1名を含む77名が犠牲となった。



← 慰霊碑に献花する水戸地本 徳野代表と原ノ町支部 岩橋副委員長



南相馬市小高区村上地区の慰霊碑。村上地区ではJR東労組組合員1名を含む62名が犠牲となった。



村上地区の慰霊碑には、津波による被災と同時に、東京電力福島第一原発事故により避難生活を余儀なくされたことを「後世に伝えおく」と刻まれている。